

作品の閲覧

2025-09-25

『京都ものがたりの道』

何でも読もう会

書物名	『京都ものがたりの道』	開催日	出席者
作者	三笠宮彬子	9月25日	3名
<作品の内容等> ・三笠宮彬子さんは皇族としての役目を果たしながら、学者として日本文化の研究等をなさっています。 ・京都での生活基盤をお持ちで、そんな中で、ブラット京都の町を歩いて、お感じになったことを書かれています。 ・歴史にまつわるお話や、通りの名前の逸話や地元の人々の季節折々の暮らしにも触れられています。 <皆さんの感想意見> ・読みやすいエッセイで、京都に行ってみようと思わせる内容だった。 ・皇族ですからブラット独り歩きではなく、必ず側衛さんと府警のお巡りさんがご一緒されているが、その様子も飾らない様子で、ほほえましい。 ・26の通りを歩かれたのかと感心しました。 ・京都市民の誇りが彬子さんのエッセイを通して感じました。			